



2024年度 東北地理学会 秋季学術大会 プログラム

1. 期 日 2024年11月3日（日／文化の日）～ 4日（月／振替休日）

2. 会 場 山形大学 小白川キャンパス 人文社会科学部 1号館
〒990-8560 山形市小白川1-4-12

3. 日 程

第一会場			
	時刻	発表分野	発表番号
11月3日(日)	09:30～11:58	共通・人文分野	111～116
	12:00～13:20	昼休み	
	13:20～14:48	人文分野	117～120
	14:50～17:00	共通・自然分野	121～125
	18:00～20:00	懇親会	※場所は下記参照
11月4日(月)	午 前	「地理総合」ワークショップ in 山形	
	午 後	シンポジウム「東北ので地理を学ぶ」	

※『「地理総合」ワークショップ in 山形』は、高校地歴科・公民科教員等を対象に開催します。

※ ワークショップ及びシンポジウムは、オンラインでの参加が可能です。
オンラインで参加する場合には、事前の申し込みが必要です。詳しくは、学会webページ参照。

4. 交 通 JR東日本 山形駅から徒歩30分（東方へ約2.5km）

ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車（所要時間約9分）

アクセス方法(山形大学webページ)

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/>

5. 昼 食 事前にご準備いただくか、大学周辺の飲食店をご利用ください。

※ 大会当日、大学構内の食堂・売店は休業予定です。

6. 懇親会 日 時 11月3日（日）18:00～20:00

会 場 山形大学 小白川キャンパス内 厚生会館

会 費 6,000円（学生・院生 3,000円）

※ 懇親会当日、懇親会受付にて現金でお支払いください。

7. 巡 検 今大会では、巡検を行いません。

大会2日目にワークショップとシンポジウムを開催します。

※ 詳しくは、学会webページをご覧ください。

8. 宿 泊 山形市内のホテル等をご利用ください。

※研究発表 L：発表時間20分＋質疑時間8分 S：発表時間12分＋質疑時間8分 *：口頭発表者

① 11月3日(日) 午前

第一会場(共通・人文分野)

発表：09:30～11:58

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
111	9:30	S12分	熊谷誠 (山形大)	鳴海圭佑(弘前大・院)	青森県における地理条件から見た災害曝露人口の抽出と災害対応について
112	9:50	S12分		藤媛媛(東北大)	在日中国人の防災行動の要因分析:居住地域の社会環境との関連に着目して
113	10:10	S12分	山田浩久 (山形大)	櫛引素夫(青森大)	北陸新幹線・延伸半年後の概観 -敦賀市民アンケートの速報を中心に-
114	10:30	L20分		山口泰史(帝京大)	山形県飯豊町におけるインバウンドの復活と今後の展望
115	11:00	L20分	関根良平 (東北大)	堀本雅章(法政大)	沖縄県竹富町鳩間住民の架橋に対する意識調査 -2015年と2023年の比較-
116	11:30	L20分		大西健太*(東京大・院)・永田将真(東北大・院)	東京におけるアニメーション産業のスピンオフに関する分析 -進化的アプローチの導入に向けて-

② 11月3日(日) 午後

第一会場(人文分野)

発表：13:20～14:48

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
117	13:20	S12分	遠藤尚 (東北学院大)	丹羽孝仁(金沢大)	タイのチェンマイに暮らす日本人高齢者に関する事例研究
118	13:40	S12分		三原昌巳(跡見学園女子大)	神奈川県におけるかかりつけ医の選択と住民属性
119	14:00	S12分	庄子元 (東北学院大)	本多広樹(山形大)	地域課題への対応からみた中山間地域の存続基盤 -伊那市新山地区の事例-
120	14:20	L20分		杉浦直(元岩手大)	オーセンシティ概念の構成次元と類型

第一会場(共通・自然分野)

発表：14:50～17:00

発表番号	開始時刻	発表時間	座長	発表者(所属)	題目
121	14:50	L20分	櫛引素夫 (青森大)	関根良平*(東北大)・星田侑久(NPO法人オープンコンシェルジェ)・永田彰平・磯田弦・中谷友樹(東北大)	新しくなった外邦図デジタルアーカイブ -その特徴とアーカイブシステムの経緯-
122	15:20	L20分		山内洋美(宮城県仙台西高)	地理教育と気候変動 -2024EGU総会GIFTワークショップの小括として-
123	15:50	S12分	西城潔 (宮城教育大)	施彦阳(弘前大・院)	斜面の不安定化プロセスと地すべり発生場に関する研究
124	16:10	L20分		古市剛久*(森林総研)・瀧永佐知子・稲田徹(アジア航測(株))	海外での荒廃地の拡がりと山地治山技術による対策
125	16:40	S12分		岩鼻通明(東北公益文科大・非)	湯殿山に地獄谷は存在したか